

第21回 全国書苑の集い

星野 春陽

「第二十一回 全国書苑の集い」は去る七月二十七日、大崎のニューオータニイン東京で開催されました。特に今回は、会長鈴木静村先生の卒寿（九〇歳）のお目出度い年でもあり、華雪先生亡き

後、今日迄無事に「書苑」を継承、発展させてこられた大功労者として、華雪先生も天国から喜びの拍手を送って下さっておられる事と推察いたします。

幸先生より「書画修理の現場から観て」と題する貴重なお話をお伺いすることが出来、文化財保存の重要性を「文化財学」と言う見地から更に深く教えて頂きました。この平和な時代に日本の文化財が光を放ち続け、百年、五百年、千年と永く輝き伝えることを願っています。今迄の日本は工業の発展により経済大国となりましたが、今後はこうした文化財によって精神文明が開花し、ハード・ソフトのバランスのとれた国として、本当の意味で世界をリードして行くとが期待されると思います。

さて、午後は九十五歳という元澤柏雪先生の元氣溢れる乾杯の音頭で懇親会に入りました。授賞式の研究



君嶋先生



展示室

部書苑大賞では実力者の梅林寺爽葉さん、町田煌月さん、準大賞は本沢優香さん、福田香陽さん、漢字部門賞に田中胡秋さん、かな部門賞に岩本抱水さん、笹

崎久汀さん、又、推薦合格では漢字部の須長光草さん、柴山紫香さん、大森翠竹さん、随意部の金子裕香さん、今泉和香さん、かな部の田中胡秋さん、三浦春節さんが受賞され、今後の躍進が期待されます。席上揮毫では行草で野田麗夕同人、望月六華同人、仮名で武井春凌同人、高橋香樹主幹は篆書を披露されました。最後に小林光葉同人の簡潔な閉会の辞で幕となりました。



高橋主幹



野田先生



望月先生

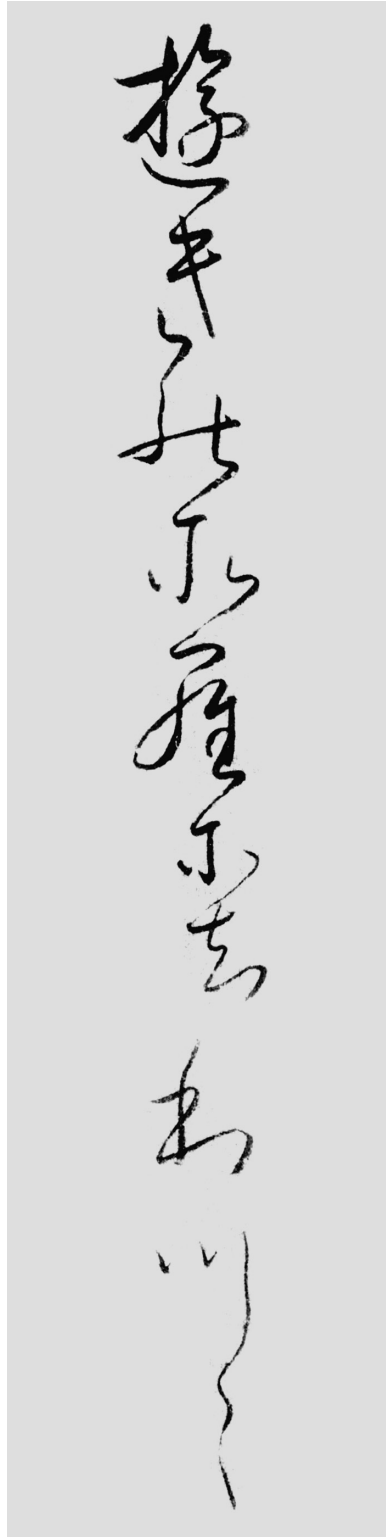


武井先生



受賞者の皆様

秋萩帖



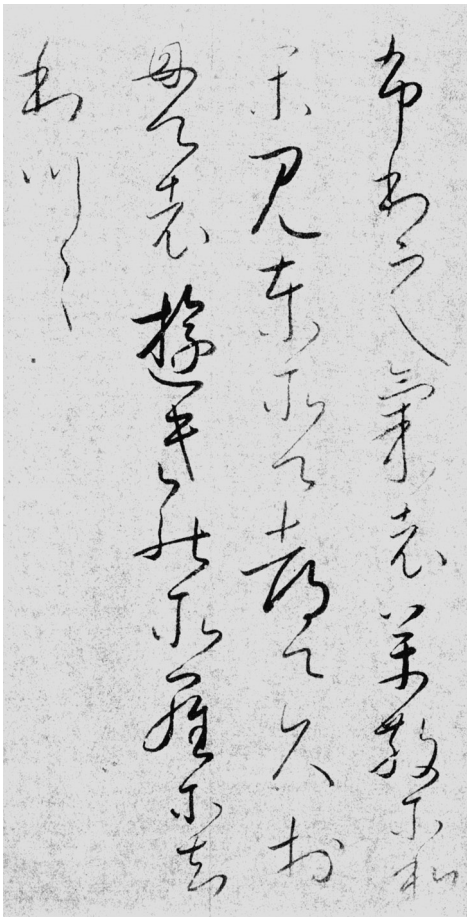
遊^{ゆき}幾^の能^{そら}所^に羅^{ちり}尔^つ知^つ利^つ川、

半切に一行で大きく書いてみましょう。筆
庄・墨の潤濁などを学びましょう。
条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。
半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレ
ンジしてください。また条幅だけ出品も大
歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は左余白に「○○臨」と調和を工
夫し書き入れる。

▽出品料五二五円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A
高橋香樹主幹書

葉上秋光白露寒(羊士譔)
葉上の秋光白露寒し。



B
鈴木静村書

点だけによる作品をととは常に頭にあるので一度試してみようと思つて書き始めたが、やはり難しい。そこで、実線と点による構成に変更。書体は草書(「光」は草書と大差はないので書き慣れている行書にする。)による。行の流れにも意を用い、墨継ぎは「白」。落款は堂号に主人をつけ「湖畔草堂主人」とした。



七言一句の場合は四・三字句と分けられ、墨継ぎも「白」字が一般とされる。葉「世」字の部分、余白処理にゆとりを。上筆順は二通り。秋「火」伸び大きく。光前字「火」と対比(二三画)。白一画目が勝負。露冠、字幅大きく、四点も明るく。寒末画二点軽くさらりと。秋
訳：葉一面に秋の陽がふりそそぎ、美しい露がひやかに光っている。

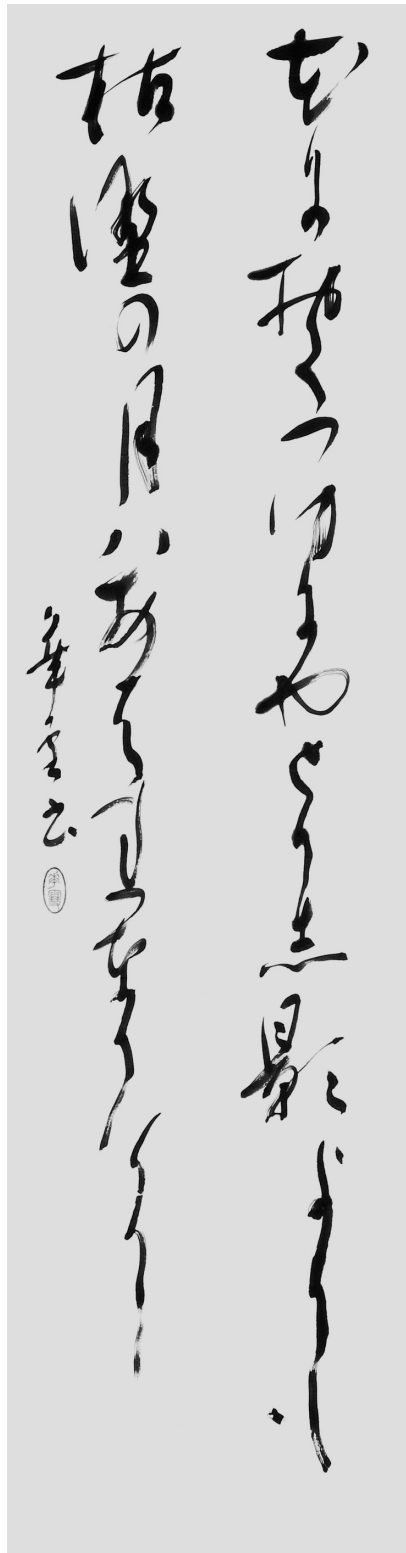
予告 (十一月二十二日締切) 三秋岸雪花初白 一夜林霜葉盡紅(温庭筠)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

A

平岡華雪先生書

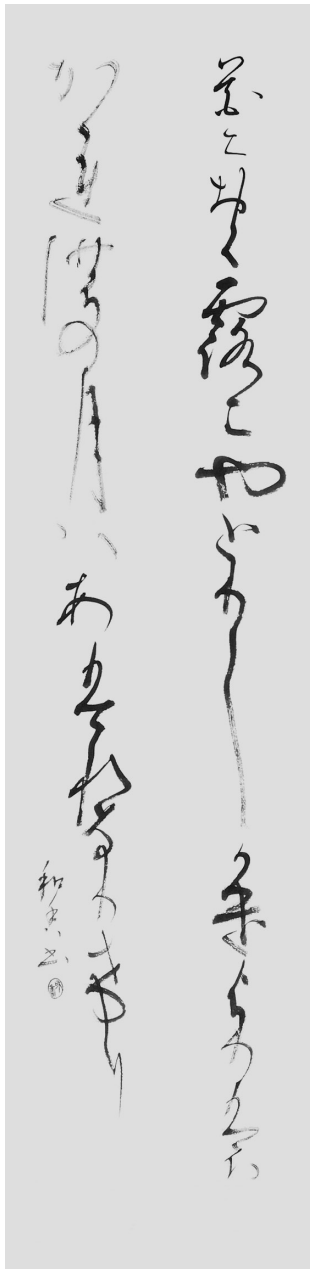
花におく露にやどりし影よりも枯野の月はあはれなりけり (山家集)
花^にお^くつゆ^るやと^り志^し影^よりも^も枯^の野^の月^はあ^はれ^なり^けり



B

小林和香先生書

花^にお^く露^にやと^り利^し可^遣よ^り利^も衰^か連^濃の^月八^あ盤^れ奈^利希^り



学び方

歌意：千草の花に置く露に宿った秋の月の光よりも、冬枯れの野を照らす月はしみじみとした感じがする。
作品を制作するときまず考えることはどんな構成にするかと言うことだろう。二行書き、三行書き、上下二段・三段書きなど…。これからの半年間、いろいろな構成を学んでいこうと思います。まず今回は二行書きの構成から。
一行目は書き始めは静かに小ぶりに始め、ギリシア建築のエンタシスの柱のように中ほどにボリュームを持たせ行尾はやや小さめに収め、二行目は渴筆を用い一行目との響きを大切にします。渴筆部分も単調にならないように墨量、線質にも変化を持たせます。一行目の「し」は密度が不足しますので二行目で字間を詰め「れ」で字幅を持たせて一行目のバランス考えました。

予告 (十一月二十二日締切)

立田山こずゑまばらになるまゝに深くも鹿のそよくなるかな (新古今和歌集)

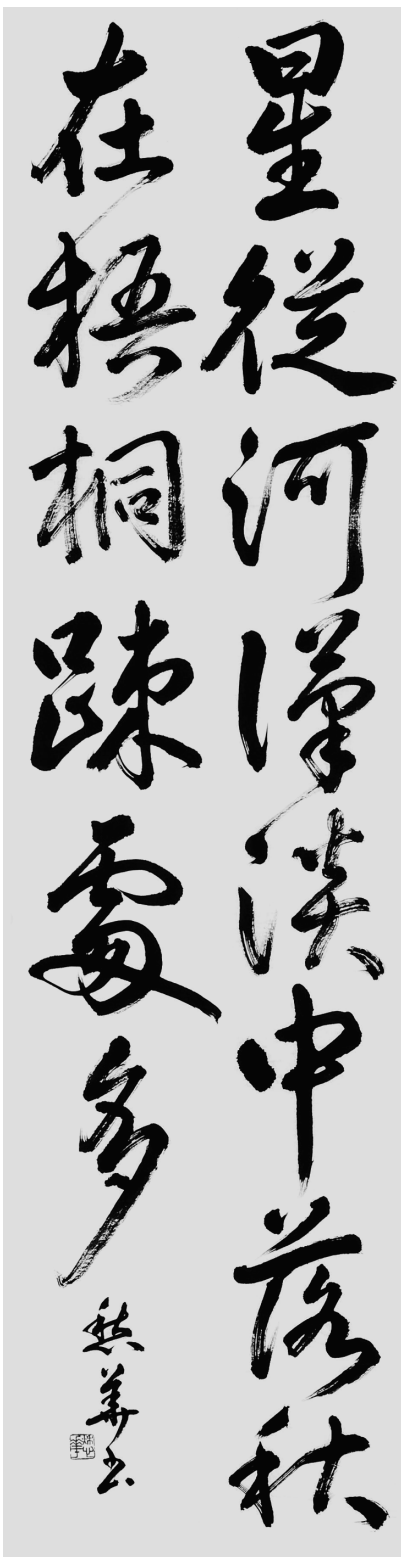
西行

(一一一八〜一一九〇)
北面の武士として鳥羽院に仕えていたが、二十三歳の若さで出家し、生涯に二千首以上の和歌を残しています。西行の歌には桜と月の歌が非常に多く見られます。また出家者でありながら恋の歌も数多く作っています。自由な境地に遊ぶ歌僧として後世に数々の伝説を残しています。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

石田 愁 華 先 生 書

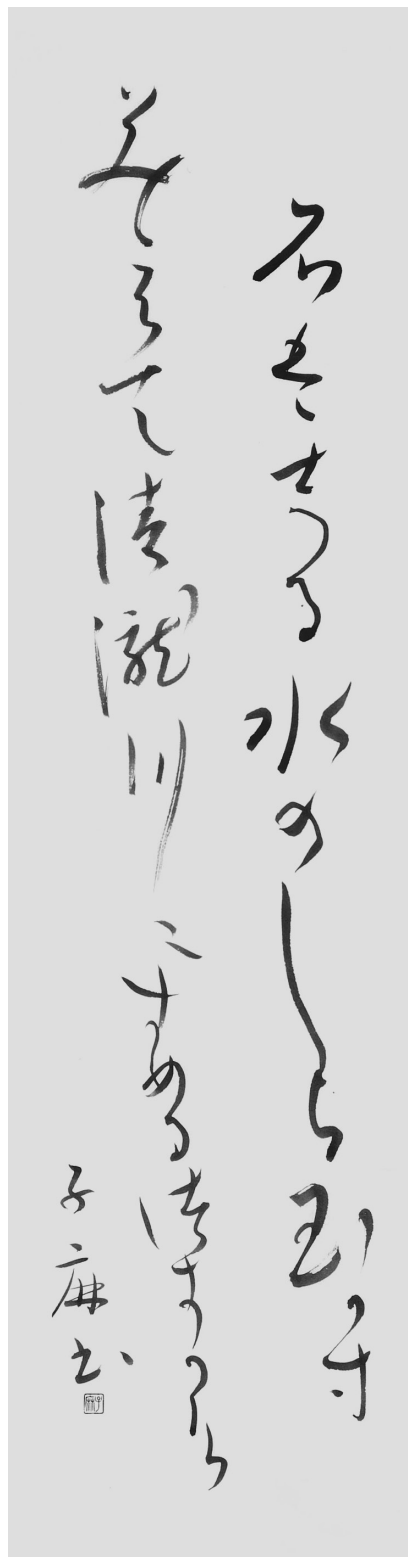
星從河漢淡中落 秋在梧桐疎處多（王逢）
 星は河漢淡中より落ち、秋は梧桐疎處に在りて多し。



訳：星の影は淡く流れている銀河より落ち、秋は梧桐の葉はまばらなる所に多い、それは月光で知られる。

林 子 麻 先 生 書

石はしる水のしら玉かず見えてきよたき川にすめる月かげ（千載和歌集 藤原俊成）
 石盤志る水のしら玉可寸美え天清瀧川二すめる徒支可介

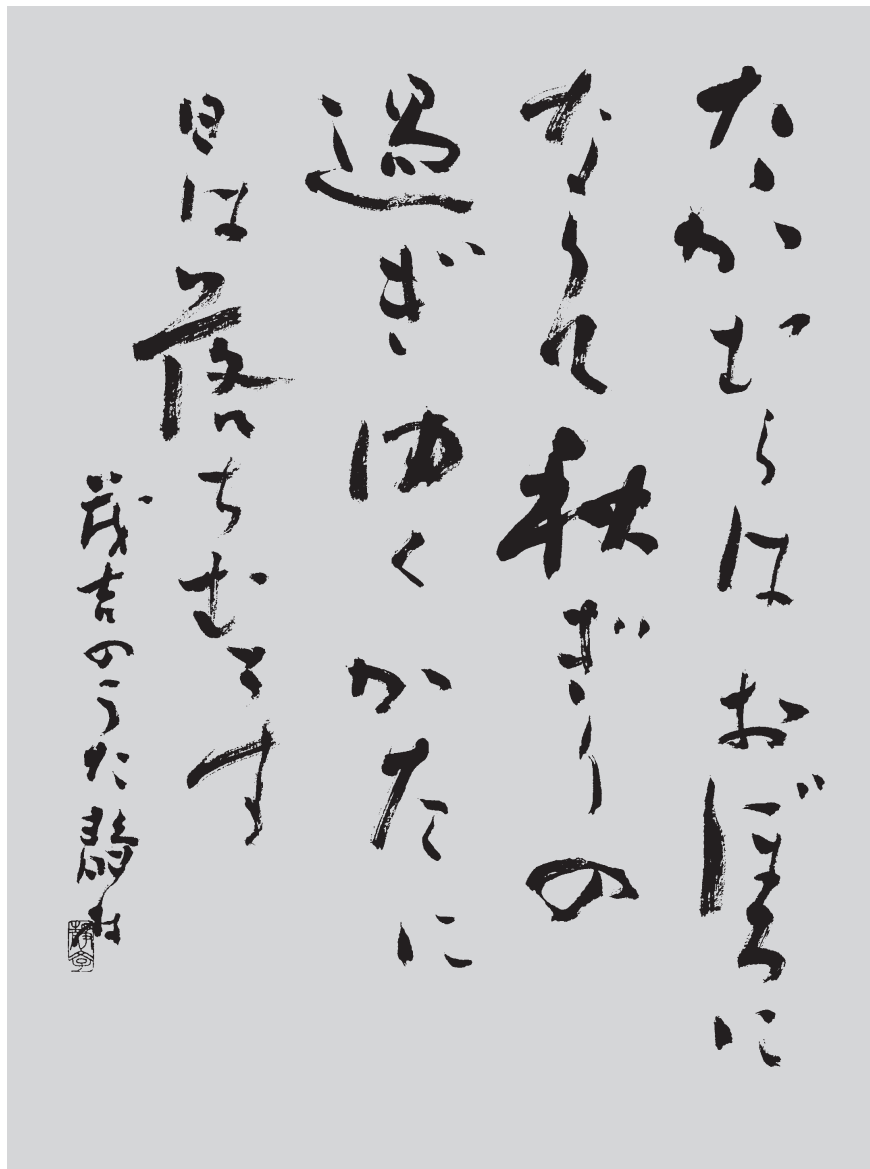


- ◆注 意 ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
- ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

たかむらはおぼろになりて秋ぎりの
過ぎゆくかたに日は落ちむとす

(齋藤茂吉)

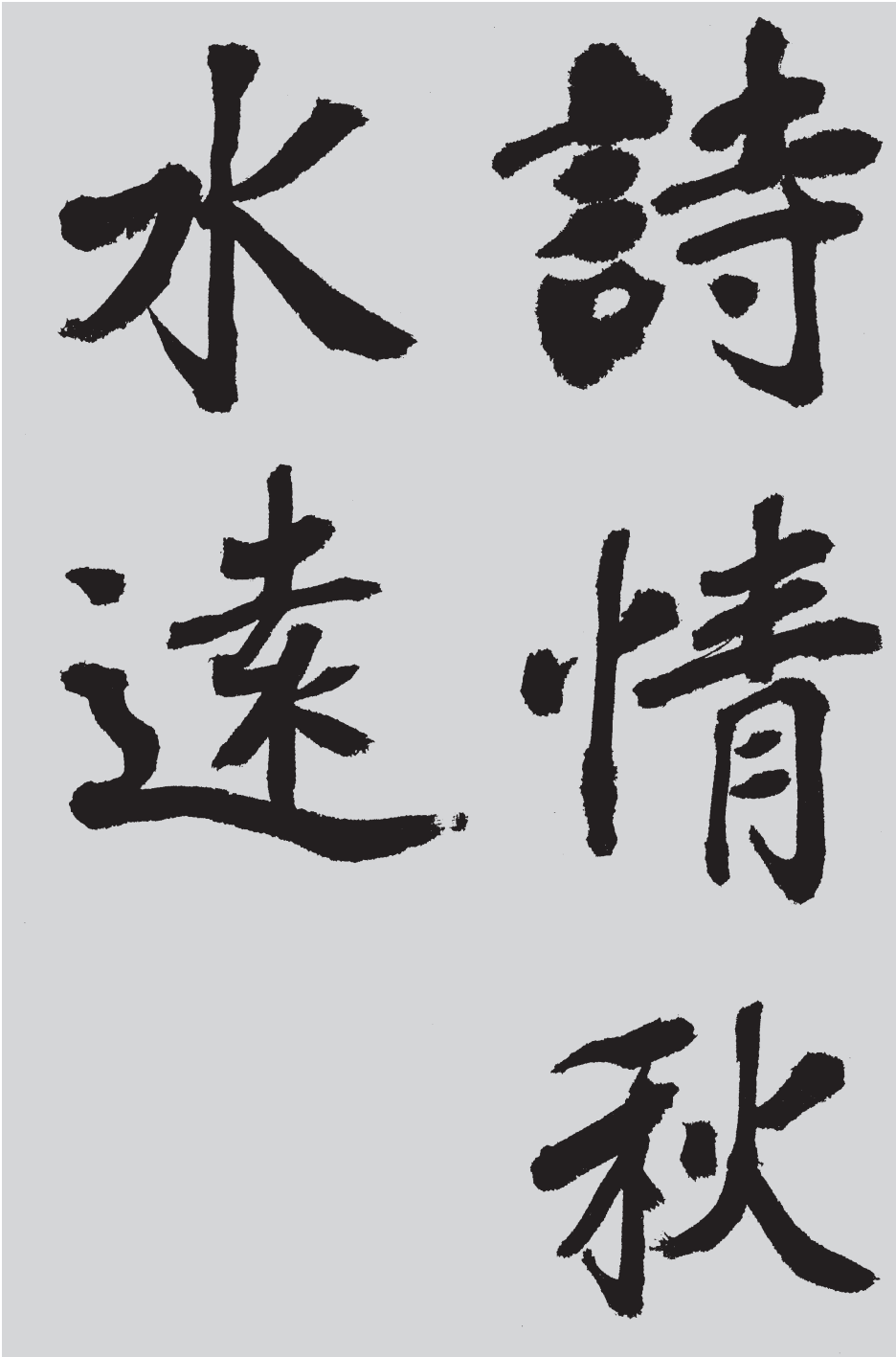


○茂吉のふるさと山形県上山^{かみのやま}での詠歌。
・たかむら―竹やぶの意
○平がなが多く、漢字は四文字。このような場合は平がなに大小、強弱をつけると、何とか収まり易い。

- 一行目 たかむらは「放ち書き」軽快に。おぼろにほる連綿させ、強調。
- 二行目 秋ぎりの秋 アクセント。ぎりの直線的。の字幅。
- 三行目 過之繞字幅、のびやかに。ゆくかたに間合いに少々工夫を。
- 四行目 落 大きく。ちむとす 大小の変化とリズム化。す 私好みで大きい。末筆の結びは「寸」を意識し点で締め用の筆。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

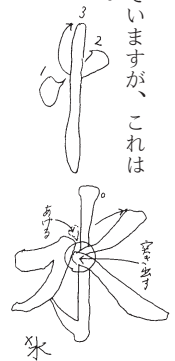
①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

詩情水遠し(沈周)
訳：詩情は秋の水と共に幽遠である。

〈形のとり方の一つ〉
各字のタテ画は、いずれも高く書かれていますが、これは文字の形のとり方のポイントの一つです。文字の姿勢がよく、明るさをもたらしています。他の文字へも応用して下さい。

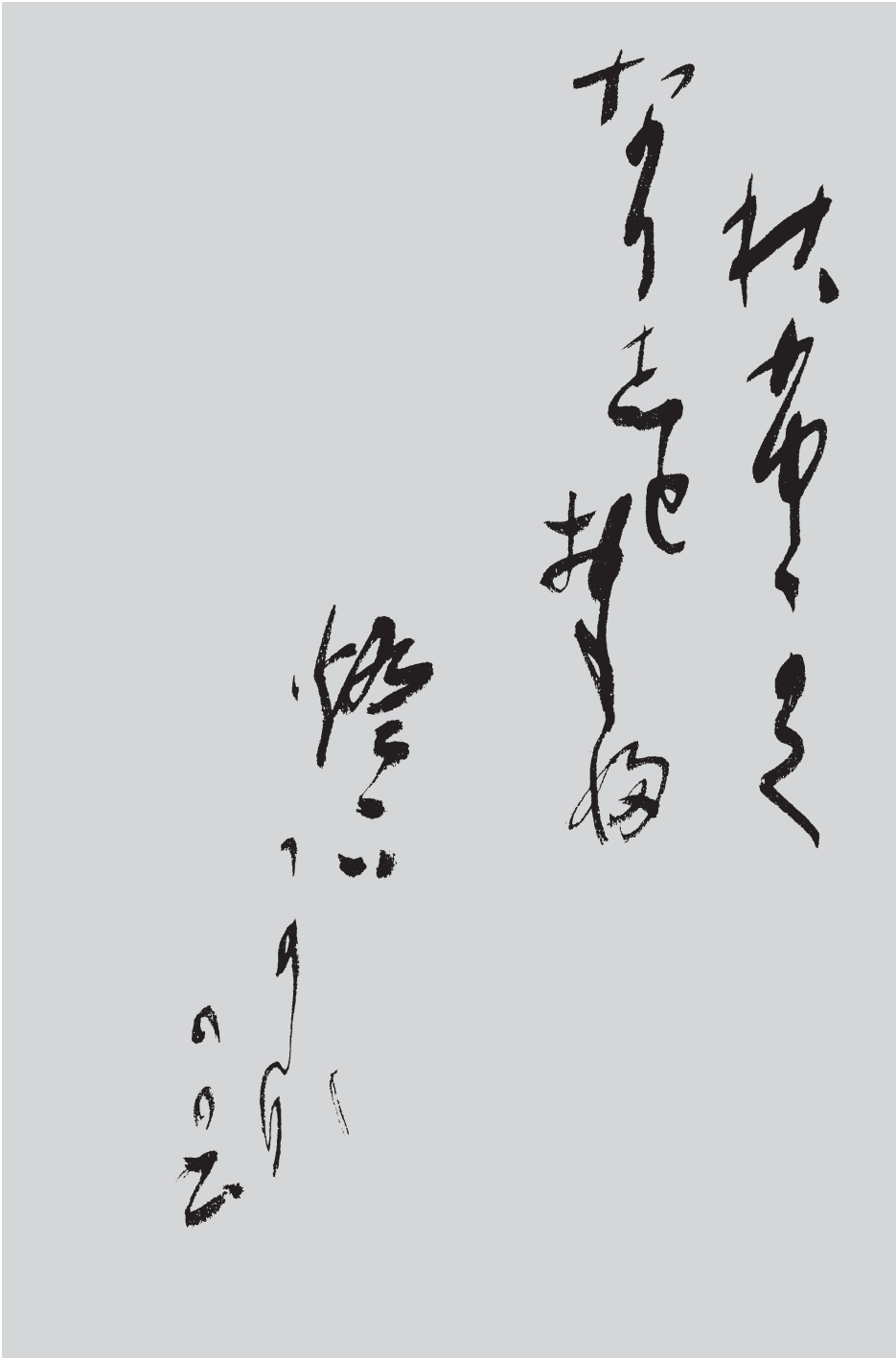


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

秋ふかくなりしとおもふ燈下かな (もと女)
 秋布可^{ふか}久^かなり志^しとおも^ふ婦^ふ燈^か下^か可^か那^な



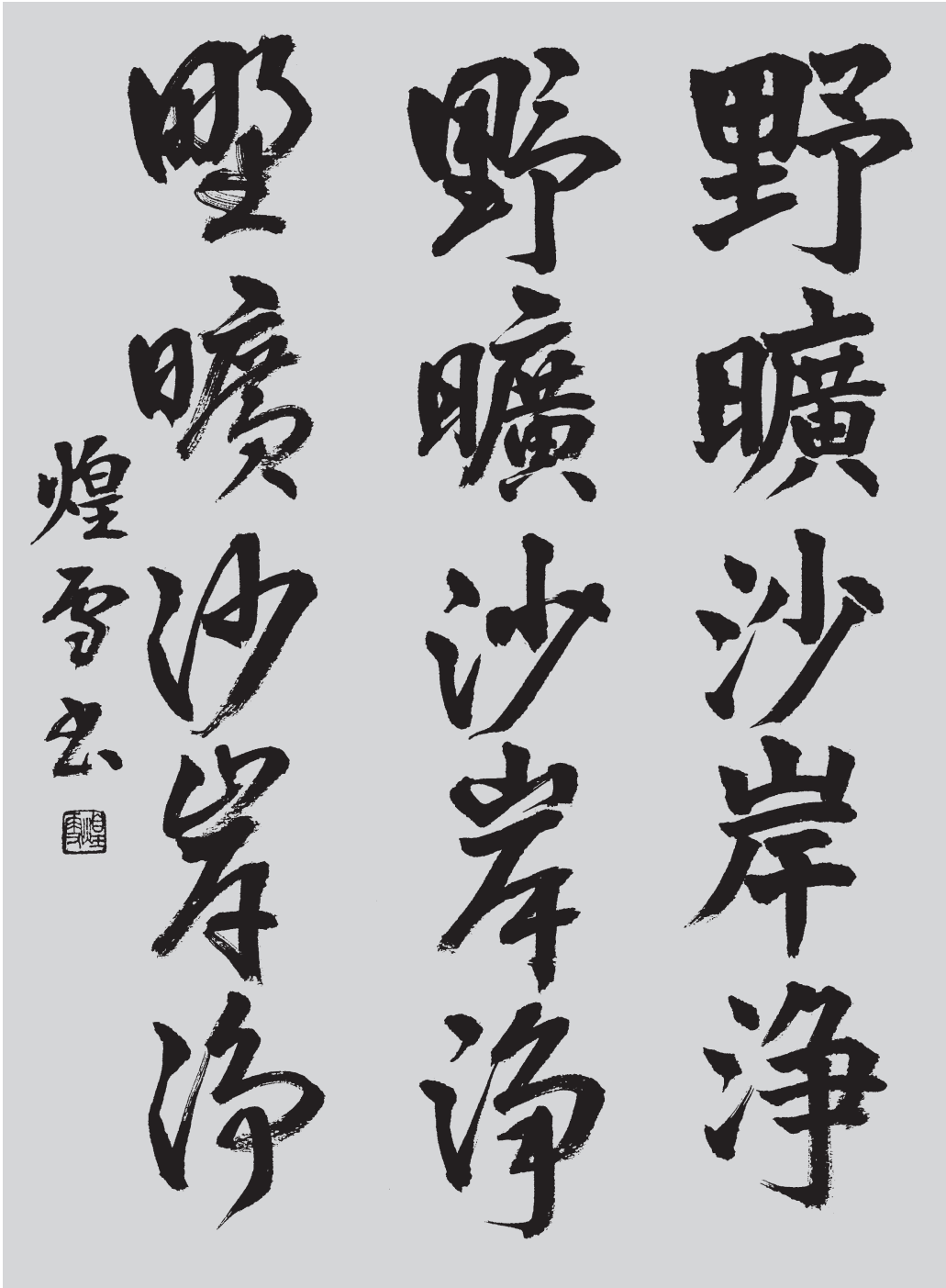
〈調和への工夫を〉
 右群は墨量が多くふくよか。左群では「可那」を鋭い細線で収めています。調和を欠かないよう用筆に留意して。なお、「秋」の禾偏第一画は、単独としては「ノ」をつけて「秋」に書くのが普通です。連綿の場合は略して、すっと入る手法もあります。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

星野煌雪先生書

野曠沙岸淨（謝靈運）
野曠のひろく沙岸しがんきよ淨く

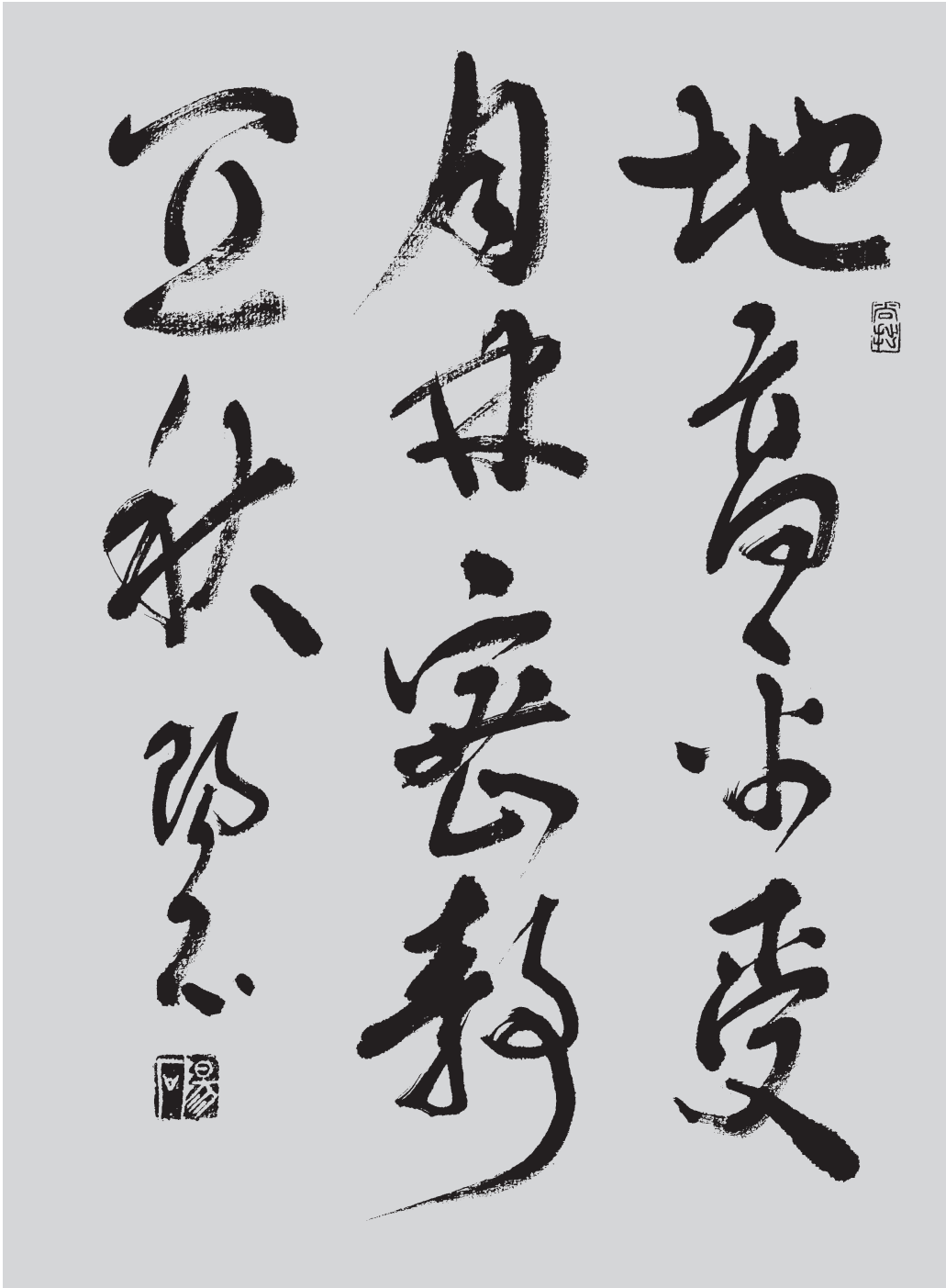


訳：秋晴の日の景観である。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

難波陽石先生書

地高平受月 林密静宜秋（石瑤）
地高^{ちたか}平^{たい}らかに月^{つき}を受け^うけ、林^{はやし}密^{みつ}に静秋^{せいあき}に宜^{よろ}し。



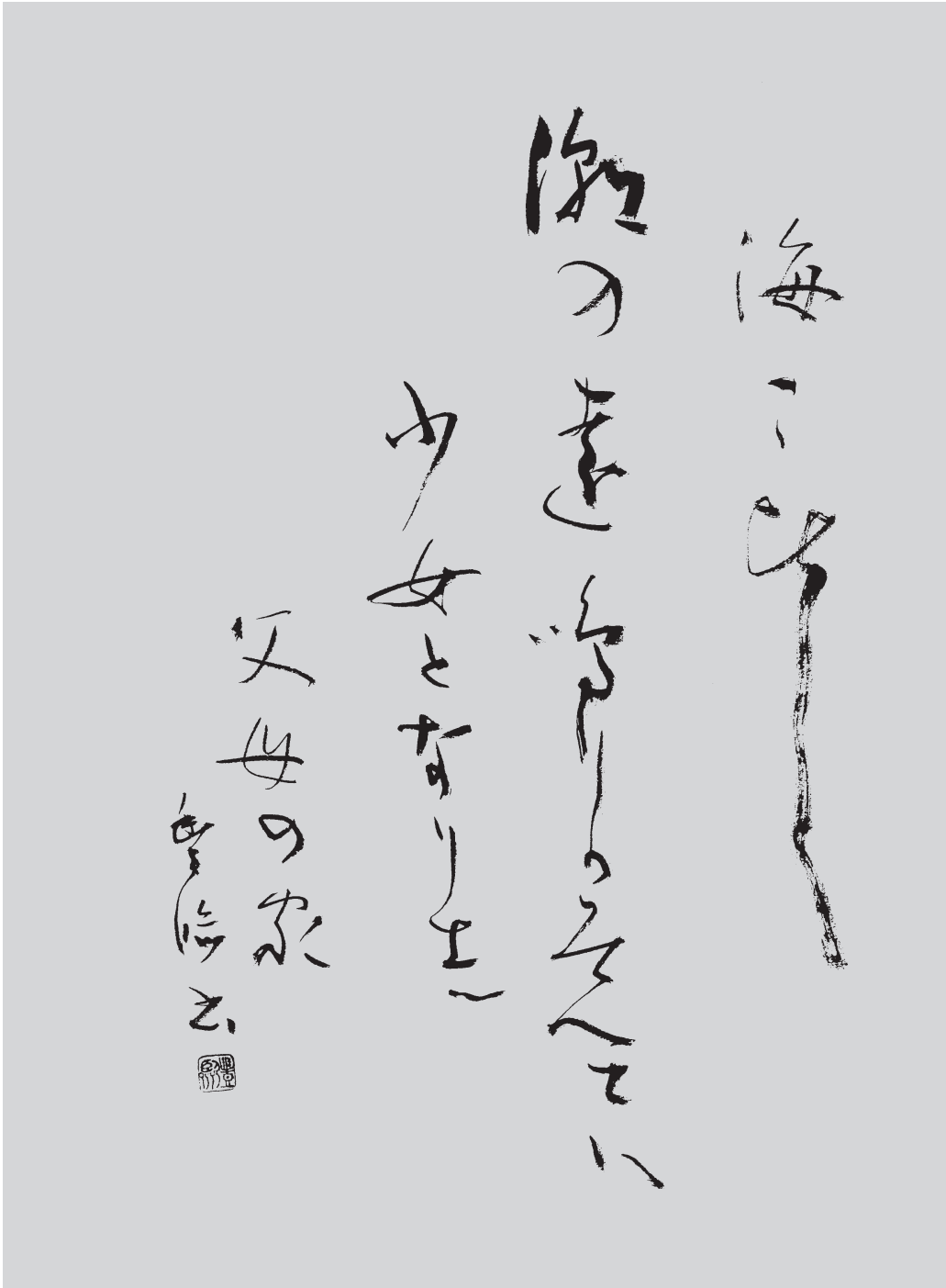
訳：土地高きが故に一面に月の光を受け、林は深く茂れるが故に静かで秋に殊によろしい。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円

随意部参考

吉原豊臨先生書

海恋し潮の遠鳴りかぞへては少女となりし父母の家（与謝野晶子）
海こ比し潮の遠鳴り可そへて八少女となり志父母の家



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

うろこ雲のたなびく秋の里は、
 湿っぽさをすべて大気に吸い取られ、
 からからとした光に満ちている。

夕暮れ近い太陽が、西の山の稜線を
 朱に染めはじめると、下りてゆく道の
 東方に当って、夕映えの雲の下に、紺
 青の太平洋が浮び上って来た。

課題 1 (初段階以上)

夕暮れ近い太陽が、西の山の稜線を朱に染めはじめると、下りてゆく道の東方に当って、夕映えの雲の下に、紺青の太平洋が浮び上って来た。

「花の百名山 五葉山」田中澄江

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四二〇円

課題 2 (初段階以下)

うろこ雲のたなびく秋の里は、湿っぽさをすべて大気に吸い取られ、からからした光に満ちている。

「里山の少年」今森光彦